

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇二二年度 普連土学園中学校入学試験

二〇二二年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 一

問題一

問一 他人のこと、まして、他人の言動の背景などわからないので、なぜそう言ったのか、なぜそうしたのかを説明して、初めてわかりあえる可能性が生まれるから。

問二 論理的かどうかは前提から結論に至るプロセスの問題なのに、結論だけを取り上げて批判しているところ。  
 (論理的かどうかは前提から結論に至るプロセスの問題なのに、「論理」について絶対的な外部基準が存在するという前提で、相手の主張を「非論理的だ」と批判しているところ。)

問三 以心伝心

問四 相手のことはわからないという前提のもとで話すこと。

問五 すべてを言葉で表現できるわけではない  
 言語化が弊害をもたらす場合もある

問六 ④ 言語化されたものは、内心の発露であって、真実でなくてはならない

⑤ 内心で何を考えようと個人の自由だが、言語化すると社会的責任が生じる

問七 価値観が多  
 待てなくなってきたから。

問八 イ

問題二

問一 篤義なら生まれた子猫の居場所を知っているだろうということ。

問二 クロだけが母親と似ていないから。

問三 悲しみとも  
 ような何か

問四 クロを死なせるものか、という思い。

座席番号
受験番号
氏名

合計得点
------

問五 エ

イには部分点があります。

問六 おとなしかった篤義が初めて見せる強烈な反抗が自分に向けられたものであることに動転し、腹を立ててしまったから。

問七 エ

問八 クロが捨てられないように、面と向かって母と戦わなければならないと思ったから。

問九 ア

問題三

憲法

前兆

敬遠

札

究極

けびょう

うおつなおう

なか(ば)

とつじ

ぎじ

問題五

ウ

シ

ア

ク

オ

イ

ケ

サ

エ

コ

固さ

春めく

涙ぐむ

尊ぶ

誇らしい

